

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 5 月 22 日

青森地方裁判所第2民事部

裁判所書記官 内空閑 英 敏

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 6 月 10 日 午前 8 時 30 分から 令和 7 年 6 月 17 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 6 月 19 日 午前 10 時 00 分 場 所 青森地方裁判所開札場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 7 月 9 日 午前 9 時 50 分 場 所 青森地方裁判所第2民事部
特別売却 実施期間	令和 7 年 6 月 20 日 午前 8 時 30 分から 令和 7 年 6 月 23 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書(ただし、入札期間終了前までに、裁判所口座に現実に入金されたものに限る。) (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 5 月 22 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	9,392,000 7,513,600	一括	1,878,400	247,389	0
1	3,084,000				
2	6,308,000				
				</	



物 件 目 録

- 1 所 在 青森市大字油川字浪岸
 地 番 36 番 3
 地 目 宅地
 地 積 715.68 平方メートル

- 2 所 在 青森市大字油川字浪岸 36 番地 3、36 番地 6
 家屋 番号 36 番 3
 種 類 居宅 店舗
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建
 床 面 積 1 階 190.04 平方メートル
 2 階 206.57 平方メートル
 (現況)
 床 面 積 1 階 約 295.62 平方メートル
 2 階 206.57 平方メートル
 (未登記附属建物)
 種 類 倉庫
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建
 床 面 積 1 階 約 79.49 平方メートル
 2 階 約 39.74 平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 4月 8日

青森地方裁判所第2民事部

裁判所書記官 内空閑 英 敏

1 不動産の表示.

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- 1 所 在 青森市大字油川字浪岸
 地 番 36 番 3
 地 目 宅地
 地 積 715.68 平方メートル

- 2 所 在 青森市大字油川字浪岸 36 番地 3、36 番地 6
 家屋 番号 36 番 3
 種 類 居宅 店舗
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建
 床 面 積 1 階 190.04 平方メートル
 2 階 206.57 平方メートル
 (現況)
 床 面 積 1 階 約 295.62 平方メートル
 2 階 206.57 平方メートル
 (未登記附属建物)
 種 類 倉庫
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建
 床 面 積 1 階 約 79.49 平方メートル
 2 階 約 39.74 平方メートル



令和 6 年 (ケ) 第 57 号
令和 7 年 1 月 16 日受理
令和 7 年 3 月 3 日提出

現況調査報告書

青森地方裁判所
執行官 今 雅 浩

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 青森市大字油川字浪岸 |
| | 地 番 | 3 6 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 7 1 5 . 6 8 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 青森市大字油川字浪岸 3 6 番地 3、3 6 番地 6 |
| | 家屋 番号 | 3 6 番 3 |
| | 種 類 | 居宅 店舗 |
| | 構 造 | 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 9 0 . 0 4 平方メートル
2 階 2 0 6 . 5 7 平方メートル |



(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり			
住居表示	(住居表示未実施)			
土地	物件			
現況地目	☒ 1宅地(物件) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)			
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐			
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)			
その他の事項				
建物	物件 2			
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる(☒ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☒ 床面積: 1階約295.62平方メートル 2階公簿とほぼ同じ			
物件目録にない附属建物	☐ ない ☒ ある { 種類: 倉庫(未登記) 構造: 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 床面積: 1階約79.49平方メートル 2階約39.74平方メートル }			
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 店舗・居宅 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)			
その他の事項				
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日 }			
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり			

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(2 枚目)

そ の 他 の 事 項

- 1 接面する道路は国道である。
- 2 物件2は雨漏りがみられる。
- 3 物件2の車庫・物置や倉庫で見られた猫は債務者の飼い猫ではない。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■近隣の者	(令和7年1月21日に聴取した) 1 私は本件目的物件の近隣の者です。本件目的物件は空き家ではありません。Aさんが住んでいるはずです。
■A (債務者兼所有者)	(令和7年2月4日に聴取した) 1 私は本件債務者兼所有者です。本件目的物件は私の所有です。 2 物件2には私ども家族で居住しています。物件1と2につき第三者の占有はありません。 3 物件1の土地の境界につき近隣とのトラブルはないと思います。 4 物件2は屋根の無落雪の樋の2本のパイプに支障があり、そこから水漏れを起こし雨漏りのようになっています。ほかの水回りは大丈夫だと思います。1階の店舗部分は1年前から営業していません。 5 物件2北西側の車庫・物置部分は、物件2の新築後間もなく増築しました。内部の冷蔵庫は移動可能なので動産です。 6 物件2の北側にある2階建の倉庫も私の所有です。築50年くらいは経過していると思います。元々個人で酒屋を営んでいましたので商品などの倉庫として利用してきました。 7 物件2の車庫にいる猫は私の飼い猫ではありません。室内には入れていません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

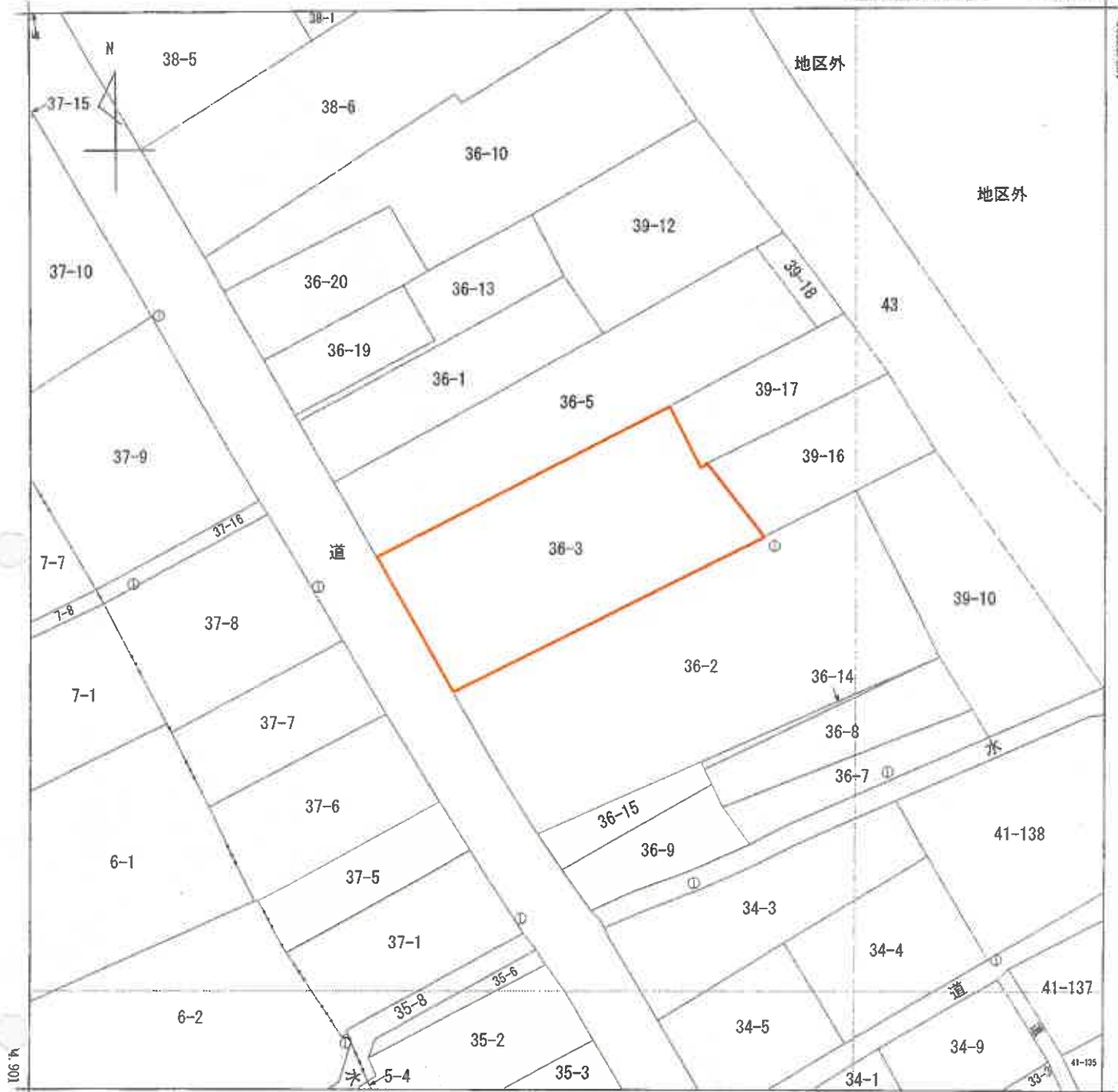
執行官の意見

- 1 本件目的物件の状況は、別紙土地建物位置関係図及び建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件目的物件の占有者及び占有状況は、現場の状況及び関係人からの聴取等から2枚目記載のとおり認定した。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

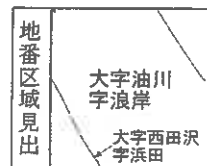
調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年 1月16日 (木) 15:00-15:10	青森地方法務局	土地建物全部事項証明書等交付申請
7年 1月17日 (金) 13:30-13:40	青森地方法務局	土地建物全部事項証明書等受領
7年 1月21日 (火) 10:00-10:30	物件所在地	現場確認 (全戸不在)、写真撮影、近隣の者から占有関係等聴取
7年 1月21日 (火) : - :	当庁	現況調査期日通知
7年 2月 4日 (火) 13:30-14:40	物件所在地	写真撮影、問取り等調査、簡易計測、関係人から占有関係等聴取、評価人同行
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☒ 令和 7年 2月 4日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場したところ、債務者兼所有者が在宅して対応した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



-11993.164 (座標値種別：図上測定)

(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyowoki2011.par)による修正がされています。

A 大字西田沢
字浜田

請 求 部 分	所 在 青森市大字油川字浪岸					地 番 36番3				
出 力 尺 寸	1/500	精 度 区 分	甲三	座標系 番号又 は記号	X	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作 成 年 月 日					備 付 年 月 日 (原図)	平成9年11月10日		補 記 事 項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年1月17日
青森地方法務局請求番号：22-7
(1/1)

登記官

A3をA4に縮小

公用

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
令和7年1月17日 青森地方裁判所

登記官

006483 各階平面図

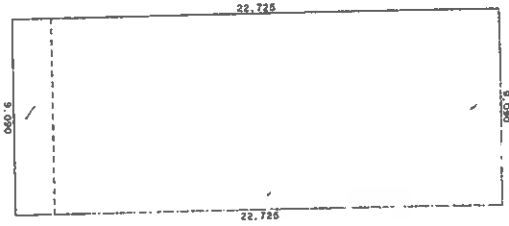
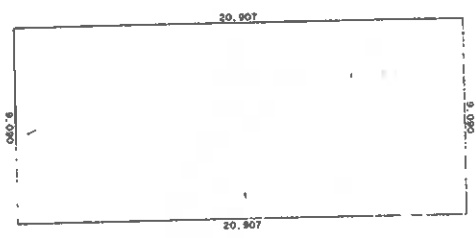
家屋番号	36-3
建築物の所在	青森市大字泊川字浪岸36番地3.36番地6

建築物各階平面図

A3をA4に縮小

(8枚目)

1 階 2 階

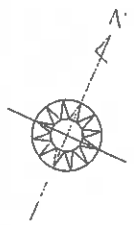
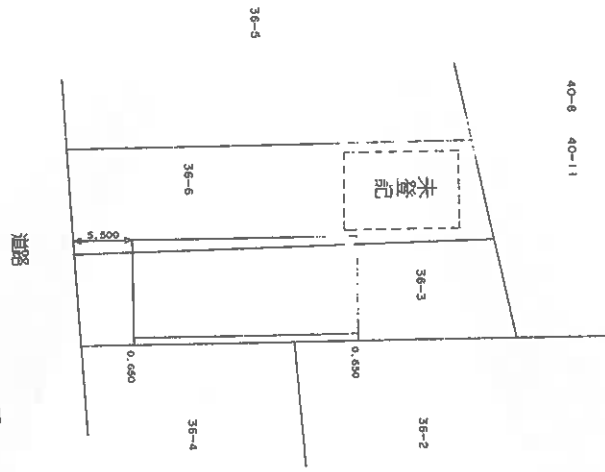


求積表

20.907 X 9.090 = 190.044630
床面積 190.04 m²

求積表

22.725 X 9.090 = 206.570250
床面積 206.57 m²



(目録送付)

(目録送付)

作製者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

平成4.11.12

土地建物位置関係図

物件番号 1, 2

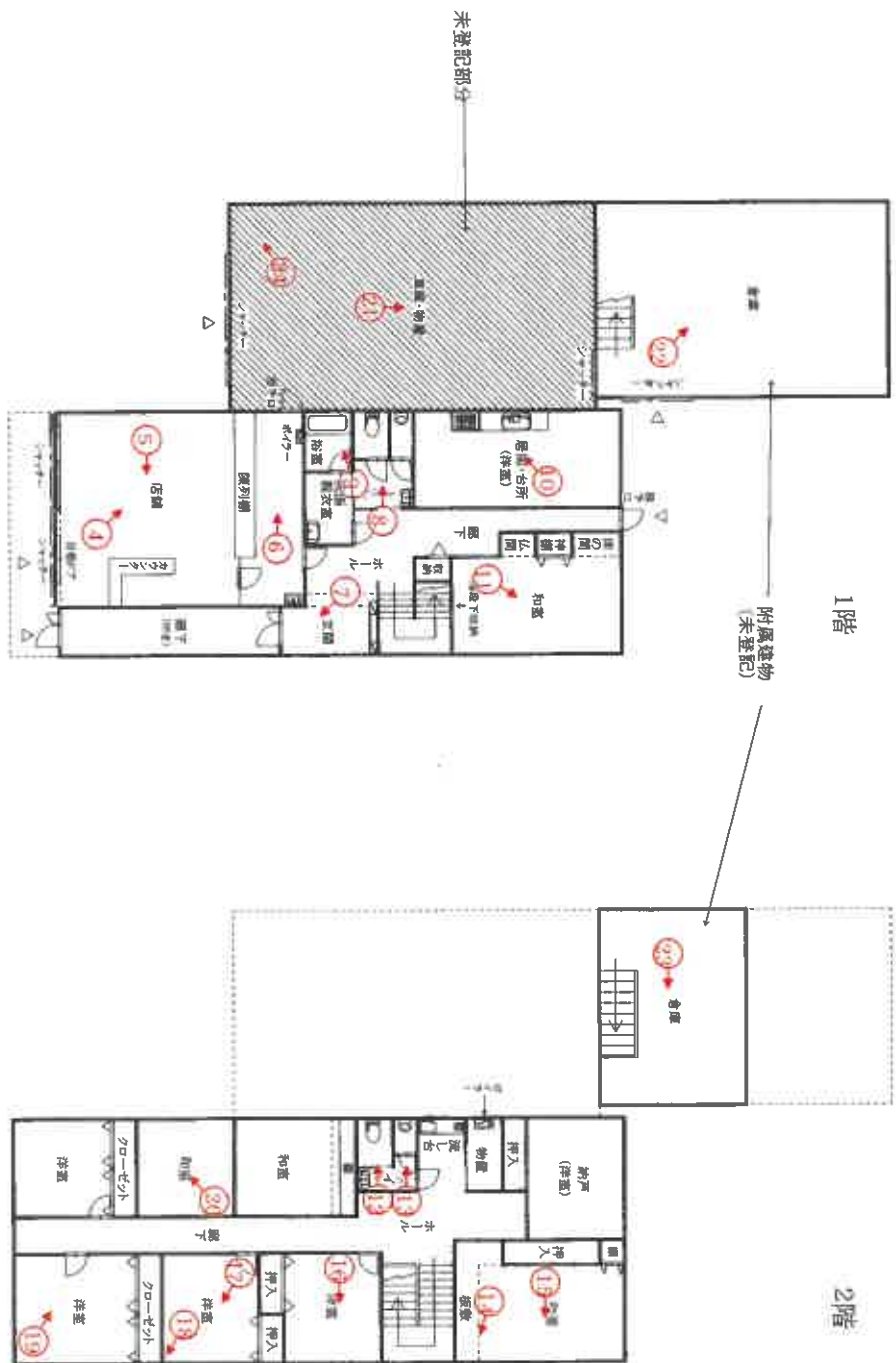


S = 1:300



凡例 ♂ 撮影地点・方向

建物間取図
物件番号 2



A3をA4に縮小

写真番号 1



本件目的物件の状況

写真番号 2



物件 1 北東側庭園跡

写真番号 3

物件 2

物件 2 未登記附属建物



物件 1

写真番号 4



物件 2 1階店舗

写真番号5



物件2 1階店舗

写真番号6



物件2 1階店舗 (北側)

写真番号7



物件2 玄関

写真番号8



物件2 1階トイレ

写真番号 9



物件 2 浴室

写真番号 10



物件 2 台所

写真番号 1 1



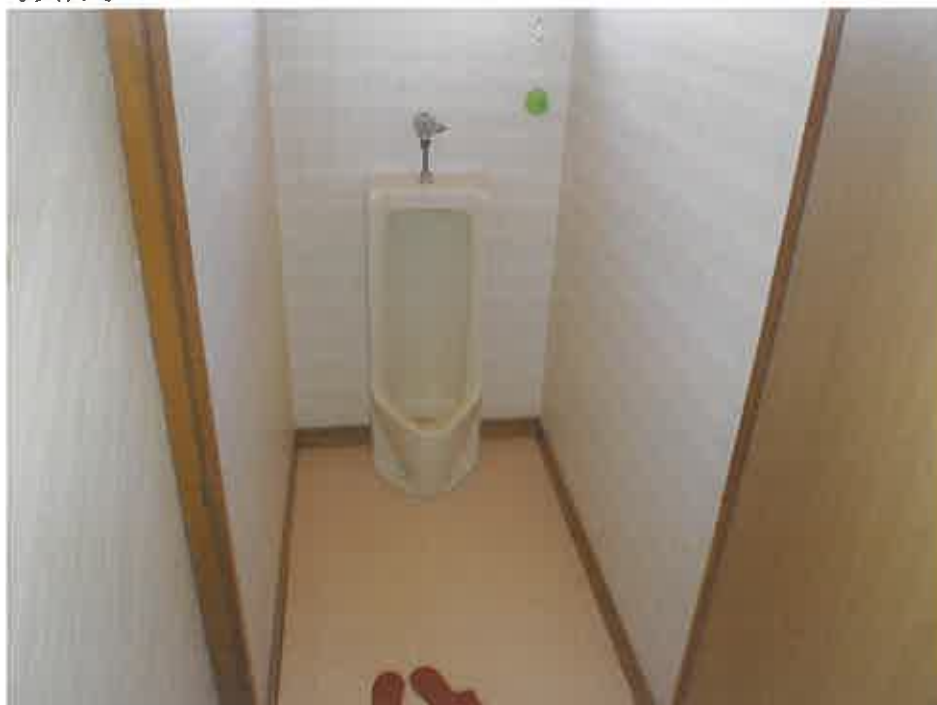
物件 2 1 階和室

写真番号 1 2



物件 2 2 階トイレ

写真番号 1 3



物件 2 2階トイレ

写真番号 1 4



物件 2 2階和室（北東側）天井部分

写真番号 1 5



物件 2 2階和室（北東側）

写真番号 1 6



物件 2 2階洋室

写真番号 17



物件 2 2階洋室

写真番号 18



物件 2 2階洋室の天井部

写真番号19



物件2 2階洋室

写真番号20

雨漏りのため洗面器など置いている



物件2 2階和室（西側・二間続き）

写真番号 2 1



物件 2 車庫・物置（未登記増築部分）

写真番号 2 2



物件 2 未登記附属建物（倉庫）1階

写真番号 2 3



物件 2 未登記附属建物（倉庫）2階

写真番号 2 4



物件 2 車庫・物置に設置してある融雪ボイラー（稼働状況不明）

副本

令和 6 年（ケ）第 57 号
令和 7 年 2 月 4 日 現地調査
令和 7 年 2 月 17 日 評 価

青森地方裁判所第 2 民事部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

駒木 功 印

第1 評価額

一括価格	
金 9,392,000円	
内訳価格	
物件1(土地)	金 3,084,000円
物件2(建物)	金 6,308,000円

- 1 一括価格は、物件1及び2の各不動産について、一括売却（民事執行法 61 条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2の建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	青森市大字油川字浪岸 36番3 宅地 715.68㎡	同 左 同 左 同 左 同 左
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	青森市大字油川字浪岸 36番地3、36番地6 36番3 居宅 店舗 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 1階 190.04㎡ 2階 206.57㎡	同 左 同 左 同 左 同 左 295.62㎡ 同 左
	(附属建物) 符 号 種 類 構 造 床 面 積		無(未登記) 倉庫 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 1階 79.49㎡ 2階 39.74㎡
番号	特 記 事 項		
	なし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等(物件1)

位置・交通	JR 津軽線「油川」駅の北東方・道路距離約 400m。 (附属資料 1 「位置図」 参照)	
付 近 の 状 況	当該物件を含む地域は青森市の北西方、油川地区にあり国道沿いに中規模一般住宅が多い住宅地域である。 幅員約 7.5mの舗装国道が標準で、幅員・系統及び連続性等の道路状態は良好。 土地の利用状況は 200 m ² 程度の敷地上に低層住宅が標準的。 地域に格別の変動要因はなく、当分の間は現状のまま推移するものと予測する。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制)	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第一種低層住居専用地域 60% 150% なし なし
画 地 条 件	間口約 18.0m、奥行約 39.0m、地積 715.68 m ² の長方形状の中間画地。 地勢は平坦地。 道路との高低差は等高。	
接面道路の状況	南西側 7.5m、舗装国道(280号) 建築基準法第 42 条第 1 項 1 号(道路法による道路)	
土地の利用状況等	土地所有者が、本土地上に物件 2 の建物を所有し、占有している。	
供 給 処 理 施 設	上水道	あり
	ガス配管	なし
	下水道	なし(但し、前面道路に本管が有り引き込み可)
特 記 事 項	なし	

2 建物の概況及び利用状況等(物件2)

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載): 平成4年10月10日新築 経過年数: 32年 経済的残存耐用年数: 13年
仕 様	構 造: 鉄骨造 屋 根: 亜鉛メッキ鋼板葺 外 壁: サイディング 内 壁: 合板、クロス貼り、繊維壁 天 井: 化粧ボード、クロス貼り、目透かし天井 床 : フローリング、クッションフロア、畳 設 備: 電気・給排水・給湯・浴室・トイレ(浄化槽)・エアコン 外 但し、設備の動作確認は行っていないので、正常に稼働するか 否かは不明。 その他: なし
床面積(現況)	第3 目的物件欄記載のとおり
現況用途等	現況用途: 居宅 店舗(未登記部分は車庫・物置) 間 取 り: 附属資料5「建物間取図」参照
品 等	中位
保守管理の状態	劣る 経年相応の劣化が生じている外、無落雪屋根の樋のパイプ部分が一部腐食し、2階数部屋の天井が部分的に雨漏りし抜け落ちている。
建物の利用状況	建物所有者が、居宅 店舗として利用、占有している。
特 記 事 項	1. 建物正面北西側に平家の車庫・物置が接続しているが(附属資料5「建物間取図参照」)、物件2建物とほぼ同時期に増築したものである。 2. 物件2建物の北側に2階建ての建物が存するが、50年ほど前に建設し、その後壁の工事などをして物件2建物の店舗用の倉庫としたものである。所有者も同一であり、物件2建物の附属建物と判断した。 3. 無落雪屋根の樋部分や2階の雨漏りのある天井の補修が必要である。

建物の概況及び利用状況等（附属建物）

区 分	附属建物（未登記）
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）： 登記なし（昭和50年頃） 経過年数： 50年程度 経済的残存耐用年数： 0年
仕 様	構 造：鉄骨造 屋 根：亜鉛メッキ鋼板葺 外 壁：モルタル塗り 内 壁：アラワシ 天 井：アラワシ、板張り 床：コンクリート叩き、板張り 設 備：電気 外 但し、設備の動作確認は行っていないので、正常に稼働するかどうかは不明。 その他：なし
床面積（現況）	第3 目的物件欄記載のとおり
現況用途等	現況用途：倉庫 間 取 り：附属資料5「建物間取図」参照
品 等	下位
保守管理の状態	劣る
建物の利用状況	建物所有者が、倉庫として利用、占有している。
特 記 事 項	1. 物件2建物の車庫・物置部分と接続して使用している。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 建付地価格 (物件1)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	16,500	0.82	715.68	(1-0.30)	6,778,000

総額につき千円未満の端数
金額は四捨五入、以下同

ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価公示 青森-29

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $16,400 \text{ 円/㎡} \times 98.7/100 \times 100/103 \times 100/95 \approx 16,500 \text{ 円/㎡}$

◇時点修正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正 : 画地条件 + 3% (方位)

◇地域格差 : 交通接近条件 - 5% (都心、商業施設)

イ 個別格差 : 画地条件 + 3% (方位)
 - 20% (規模過大) 相乗積による

ウ 地 積 : 登記数量による。

エ 建付減価 : 建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 建物価格(物件2)

目的建物の再調達原価を建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/m ²) ア	現況延床面積 (m ²) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	81,000	502.19	0.16	6,508,000
附属建物	55,000	119.23	0.02	131,000
合 計				6,639,000

ウ 現価率：

経過年数、経済的残存耐用年数、観察減価及び中古建物の市場性減価、残価率を下表のとおり判定し、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して、現価率を以下のとおり査定した。

番号	経過年数	経済的残存 耐用年数	観察減価及び中古 建物の市場性減価	残価率	現価率
2	32	13	0.50	0.03	0.16
附属建物	50	0	0.50	0.03	0.02

※現価率＝{残価率＋(1－残価率)×経済的残存耐用年数／(経過年数＋経済的残存耐用年数)}
×(1－観察減価率)

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物について土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等 の及ぶ範囲 イ	土地利用権等割合 ウ		土地利用権等価格 (円) ア×イ×ウ
1	6,778,000	1.00	0.35	法定地上権	2,372,000

イ 土地利用権等の及ぶ範囲：物件1土地の全範囲とした。

ウ 土地利用権等割合：土地利用権を法定地上権と判定し、法定地上権割合を本件建付地価格の35%と判断した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等 価格の控除及 び加算(円) イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評価額 (円) (ア+イ)× ウ×エ×オ
1	6,778,000	-2,372,000		(1-0.00)	(1-0.30)	3,084,000
2	6,639,000	+2,372,000	(1-0.00)	(1-0.00)	(1-0.30)	6,308,000
一括価格(合計)						9,392,000

ウ 占有減価修正：なし

エ 市場性修正：なし

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地価公示価格 {青森-29}

所 在：青森市大字西田沢字浜田 14 番 9 外

価 格：16,400 円／㎡

位 置：JR 津軽線「油川」駅から道路距離約 0.75 kmに位置する。

価 格 時 点：令和 6 年 1 月

地 積：345 ㎡

供給処理施設：水道・下水

接 面 街 路：南西側 7.5m舗装国道

用 途 指 定 等：第一種低層住居専用地域（建蔽率 60%、容積率 150%）

地 域 の 概 要：中規模一般住宅が多い既成住宅地域

第7 附属資料

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 1 位置図（出所：国土地理院「25000 分の 1 地形図」） | ・・・ 1 葉 |
| 2 法第 14 条第 1 項地図写 | ・・・ 1 葉 |
| 3 建物図面・各階平面図写 | ・・・ 1 葉 |
| 4 建物配置図 | ・・・ 1 葉 |
| 5 建物間取図 | ・・・ 1 葉 |

以 上

附属資料
1 位置図

令和6年(ケ)第57号

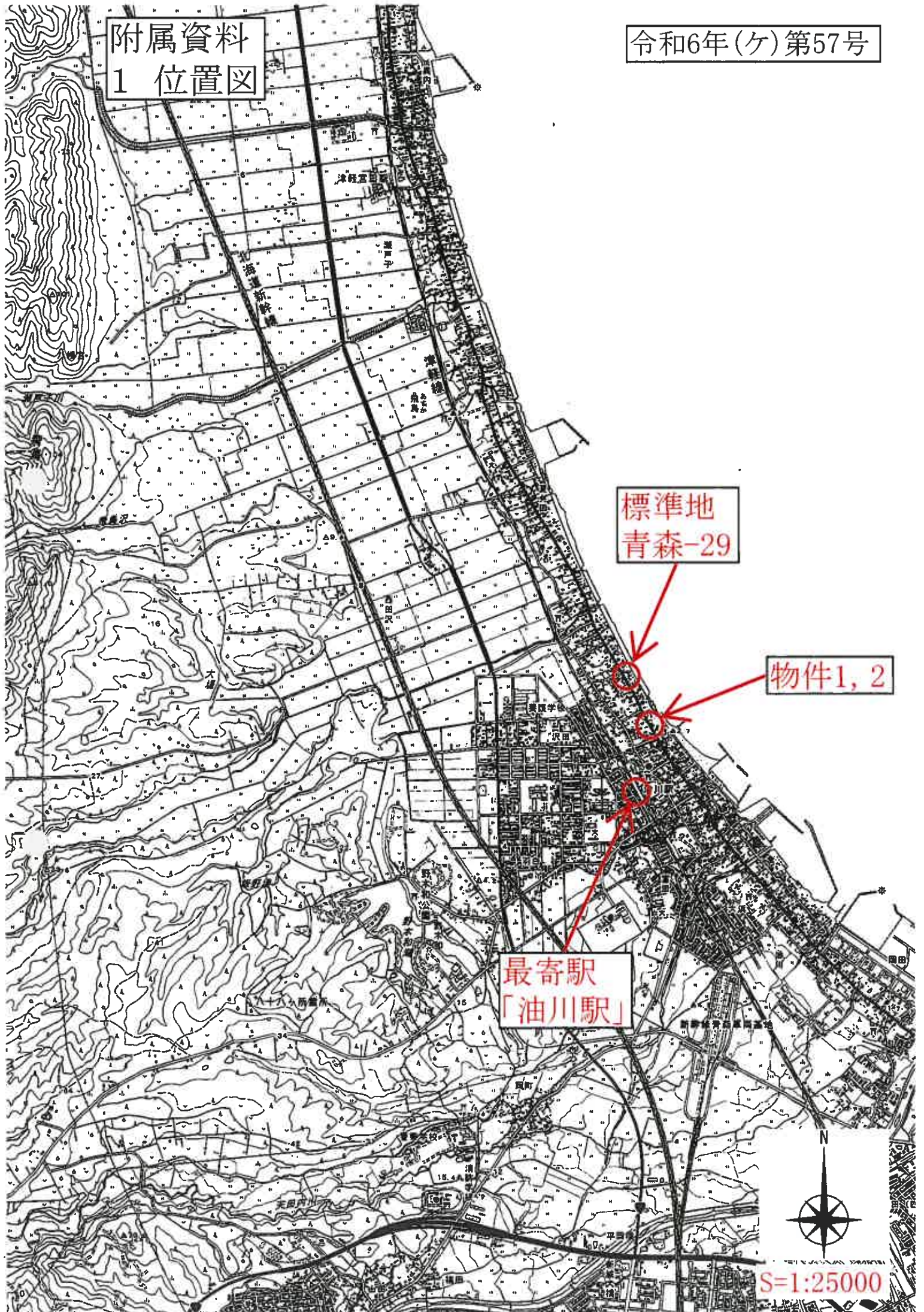
標準地
青森-29

物件1, 2

最寄駅
「油川駅」



S=1:25000

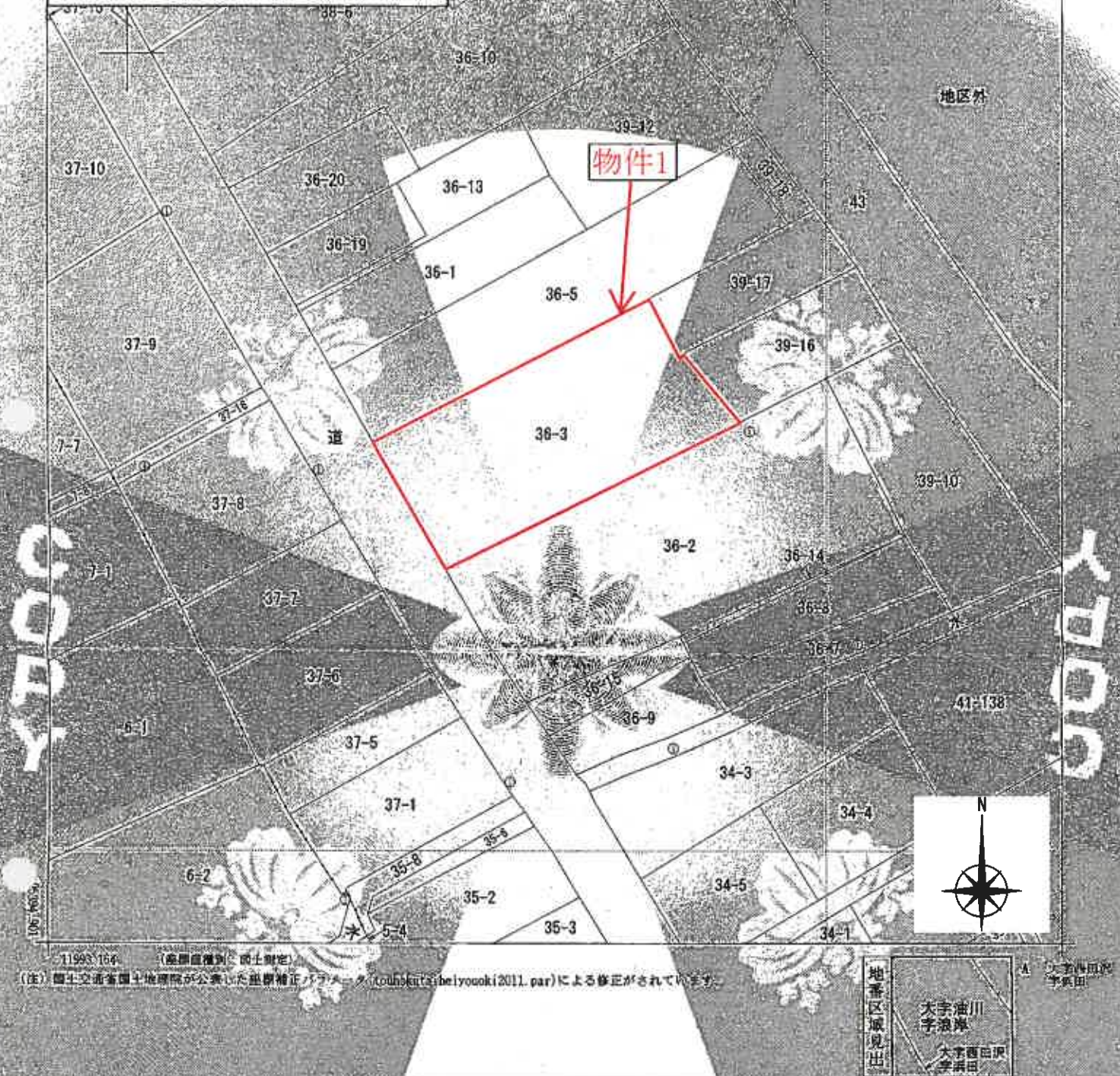


附属資料

2 法第14条第1項地図写

令和6年(ケ)第57号

-95520.901



部 分	所 在	青森市大字油川字浪岸				地 番	36番3			
出 力 縮 小	1/500	標 度 分	東 経	緯 度	補 正 係 数	分 類	地図(法第14条第1項)			
作 成 年 月 日		縮 小 年 月 日	平成9年11月10日				補 記 事 項			

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和6年12月17日
青森地方法務局請求番号: 20-1
(1/1)

登記官

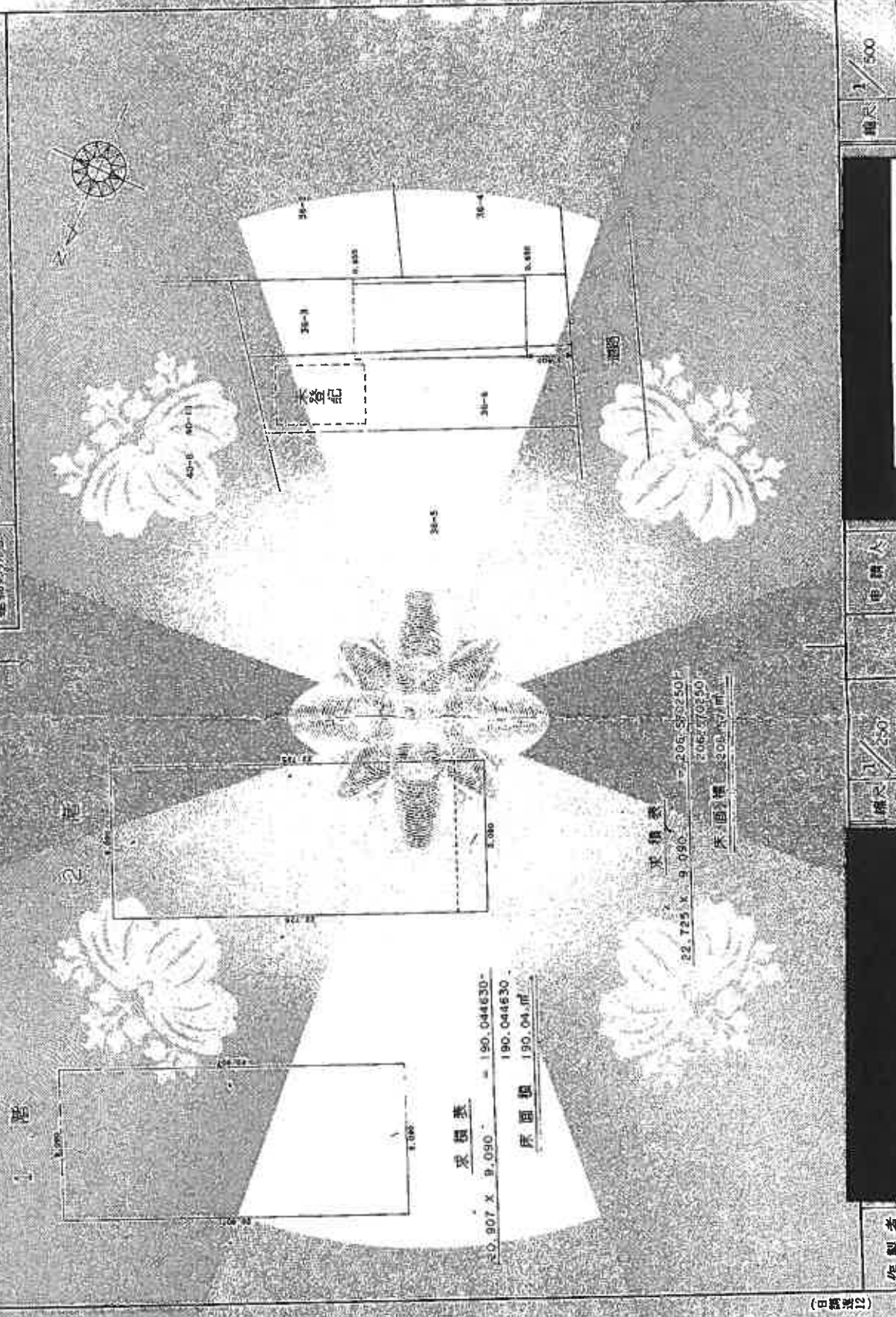
この図面は A3 を A4
に縮小しています。

建物図面
各階平面図

006483 各階平面図

家屋番号 36-3

建物の所在地 岡崎市大宮田川字廻神36番地3、36番地6



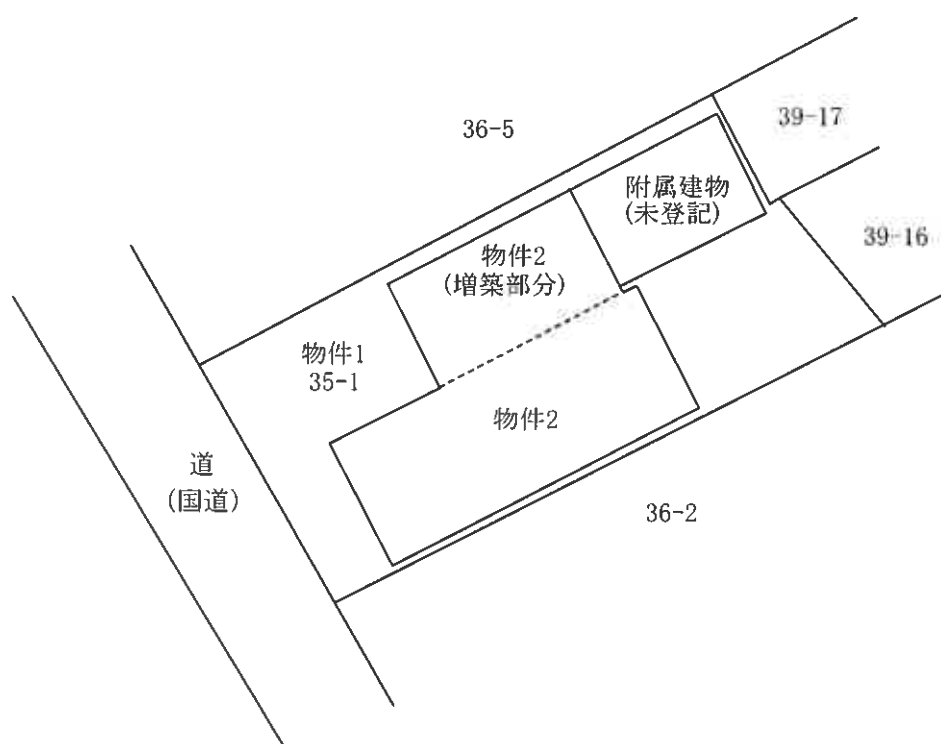
この図面はA3をA4に縮小しています。

作製者

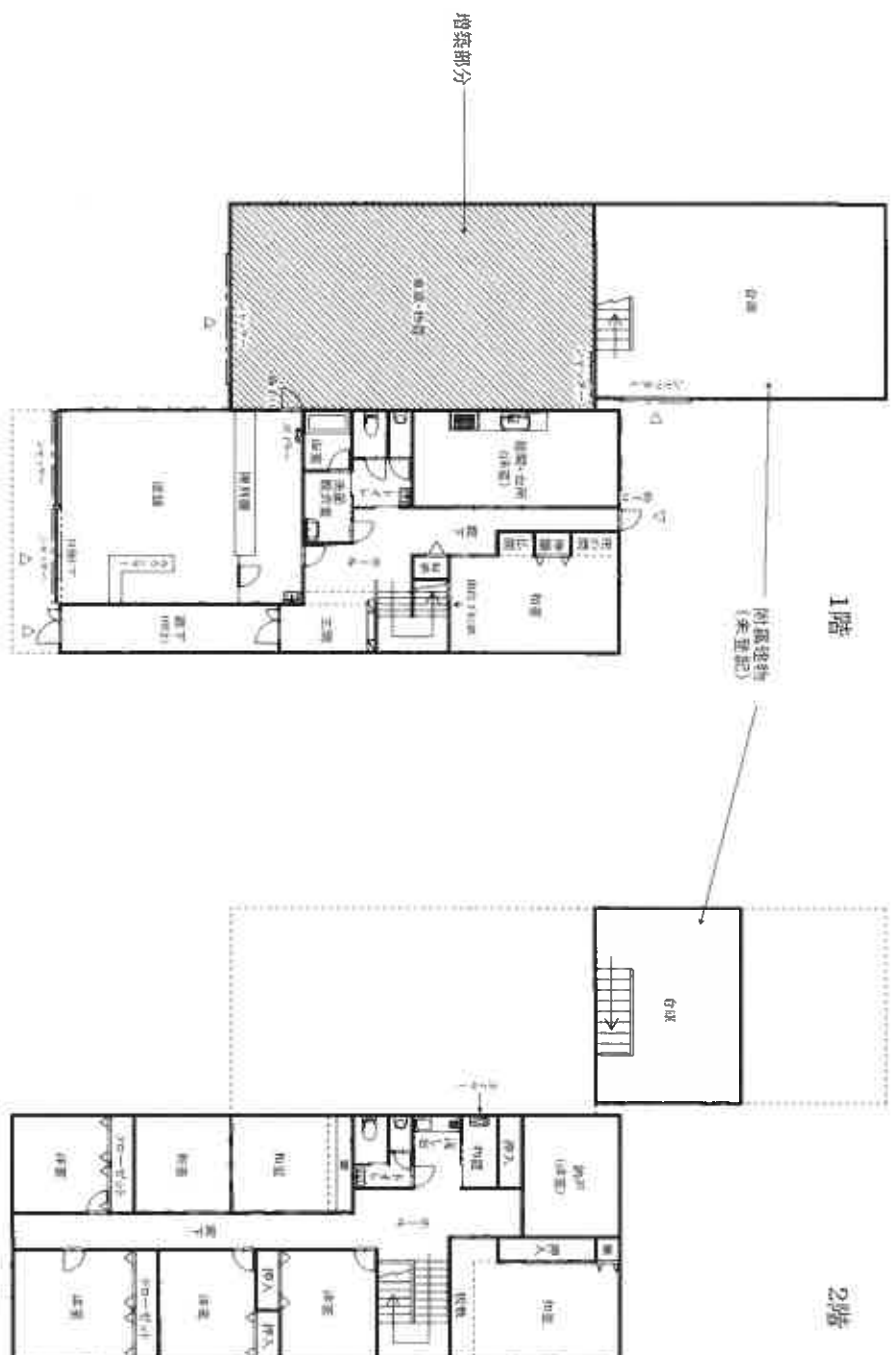
(日 欄 第 12)

附属資料
4 建物配置図

令和6年(ケ)第57号



S=1:500



この図面はA3をA4に縮小しています。

S=1:200